



「KCAPベンチャー1号ファンド」を設立！ ～ベンチャー企業投資・育成を通じて社会課題解決を実現～



京都銀行（頭取 安井 幹也）と京都キャピタルパートナーズ株式会社（代表取締役社長 山本 洋史）は、「KCAPベンチャー1号投資事業有限責任組合」を共同で設立しましたのでお知らせいたします。

京都キャピタルパートナーズは、前身の京銀リース・キャピタル（現 京銀リース）から投資事業を引き継ぎ、2023年9月に誕生した投資専門会社です。京都銀行と京銀リース・キャピタルが2016年に「京銀輝く未来応援ファンド」を立ち上げて以来、60社を超える企業への積極的な投資と伴走支援を通じ、社会課題の解決に取り組んでまいりました。このノウハウを生かして、今般、関西で最大級となる100億円規模のベンチャーファンドを設立し、シード期からレイター期まで幅広いステージの企業への投資を通じて、関西圏のスタートアップエコシステムの発展を牽引してまいります。

京都銀行と京都キャピタルパートナーズは、今後も地域の未来につながるスタートアップ投資を通じ、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

記

ファンドの概要

名称	KCAPベンチャー1号投資事業有限責任組合 (略称：KCAPベンチャー1号ファンド)
投資対象	関西圏を中心とした革新的な技術・サービスを展開するベンチャー企業 ※以下のいずれかに該当する企業は関西外でも投資いたします。 ・京都銀行および取引先企業の経営課題の改善あるいは新規事業協業等に資する事業を行っている。 ・日本発でグローバルトップが狙える可能性がある事業を行っている。
出資者	無限責任組合員（GP）：京都キャピタルパートナーズ株式会社 有限責任組合員（LP）：株式会社 京都銀行
ファンド総額	100億円
当行出資額	99億90百万円
設立	2024年9月13日
存続期間	12年（2024年9月～2036年12月） 但し合意により3年間の延長可能

以上

京都フィナンシャルグループでは、「地域社会の繁栄に奉仕する～地域の成長を牽引し、ともに未来を創造する～」という経営理念に基づいた企業活動を行っております。今後も経営理念のより一層高いレベルでの実践であるSDGs達成に向け、地域の社会課題の解決に貢献してまいります。なお、関連するプレスリリースにSDGsの目標のアイコンを明示しております。

